

JNSA ワーキンググループ紹介

ISEPA (情報セキュリティ教育事業者連絡会) JTAG

キャリアデザインWG リーダー (株式会社VSN) 玉川 博之

認定WG リーダー (株式会社ラック) 大槻 晃助

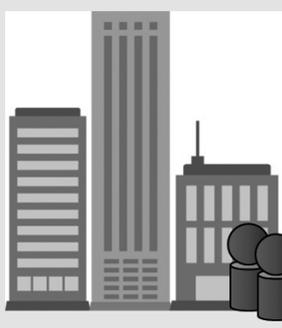
■ JTAGについて

国内の情報セキュリティ事業者やユーザー企業・人材サービス事業者、教育提供事業者が広く協力して、セキュリティ人材ニーズの明確化、情報セキュリティ人材の基盤拡充策について検討を行っています。セキュリティ分野がより魅力的な分野となり、長期活躍するキャリア基盤を構築する目的のもと、2つのWGを中心に相互に連携しながら活動しています。

情報セキュリティの業務や役割は専門技術に限らず管理部門、営業部門、さらにすべての組織運営に関わるマネジメント領域まで多岐に渡ります。それらを整理しながら職としての待遇や将来性を高めるための施策や道しるべを導き出す「キャリアデザインWG」と、そこでアウトプットされたデザインを土台にして精度の高い実力値認定の仕組みを創る「認定WG」の2つとなります。

「需要」の明確化

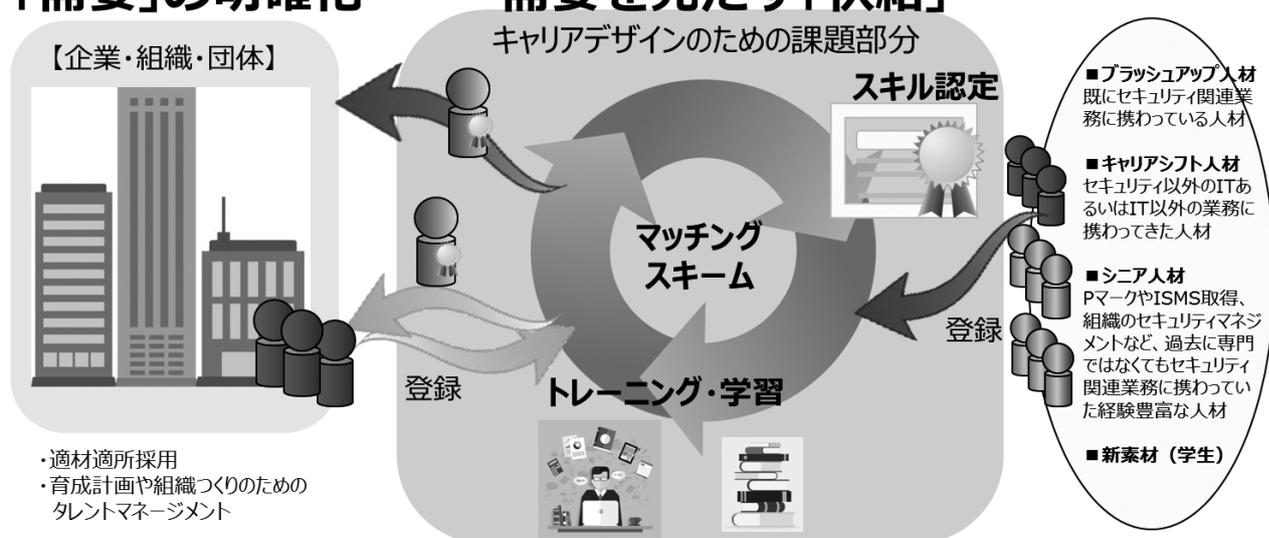
【企業・組織・団体】



- ・適材適所採用
- ・育成計画や組織つくりのための
タレントマネジメント

需要を充たす「供給」

キャリアデザインのための課題部分



■ブラッシュアップ人材
既にセキュリティ関連業務に携わっている人材

■キャリアシフト人材
セキュリティ以外のITあるいはIT以外の業務に携わってきた人材

■シニア人材
PマークやISMS取得、組織のセキュリティマネジメントなど、過去に専門ではなくてもセキュリティ関連業務に携わっていた経験豊富な人材

■新素材 (学生)

■ キャリアデザインWG

キャリアデザインワーキンググループでは、セキュリティに関わる人を調査し、キャリアアップやキャリアチェンジのモデルデザインを検討しています。2018年はセキュリティ業務の中でも特に、『自社内のセキュリティ維持向上に携わっている方』へインタビューをし、レポートを発表しました。

現在、メールを含むインターネットを利用しない業務は少なく、一人ひとりがセキュリティを意識する時代において、社内のセキュリティ担当者に求められることが増えています。



セキュリティ担当の方は何をきっかけにセキュリティ業務に携わるようになったのか、必要な知識をどのように学んだのかを調査しています。キャリアの在り方が多様化する時代となった今、学んだセキュリティ知識、業務経験を活かせるキャリア開発の在り方を検討していきます。このキャリア開発の在り方は認定ワーキンググループとも連携をしながら、キャリアと評価が連動する仕組みづくりを目指しています。

キャリアデザインワーキンググループの今後の活動として、中小企業や地方自治体などへもアプローチを試み、より幅広いキャリアの形を模索していきます。また、キャリアを築く『人』にもフォーカスを当てていく予定です。多くの業界で人材不足と言われる世の中、特に必要なセキュリティだからこそ、人が求めるキャリア形成の形が実現できるよう調査・検討を進めていきます。

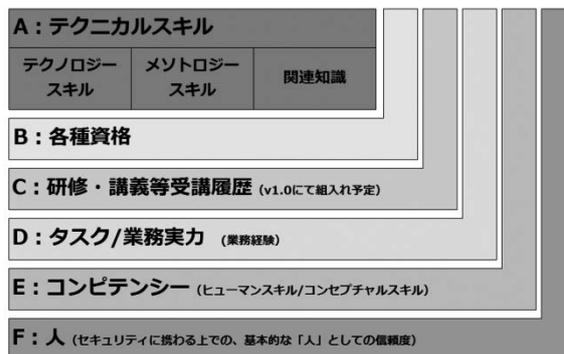
■ 認定WG

認定WGではセキュリティ人材のスキル認定制度作りを念頭におきながら、まずは人材定義や業務定義、また、その尺度を統一させて真の実力値を判定する基準作りを進めています。先般、β版として「セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化ガイドライン」を公開しました。

β版では図のA,B,Dを指標化するロジックを開発しました。かなりの打ち合わせ回数、時間を掛け綿密に練り上げています。

また、現在では正規版のリリースに向けてC,E,Fの組込みや全体判定するための仕組みを検討しています。並行してトライアルを実施しながら、それぞれの指標の精度を上げる検討も継続しています。

尚、目指す職務や役割に対しての効果的且つ効率的な教育や研修などのリファレンス化も並行して進めていきます。



■ 活動参加について

現在、主軸となって活動しているメンバーは業種や職種、ポジションや年齢など多岐に渡っています。結果として、それぞれのメンバーが多種多様な経験をもっていることで広い視点からの議論が展開されています。これはセキュリティベンダーや大企業に偏らないJTAG本来の姿へ向けて大きな力となっています。

尚、JTAGではシニア人材の再活躍仕組み作り、というテーマも盛り込まれています。少子高齢化や長寿化による個人の長い職業人生設計としてセキュリティ分野はチャンスが大きく、また、組織内外においての他分野からの人材流通の起爆剤にもなることから、メンバーの議論も自然と熱がはいります。

ご参加をお待ちしておりますので各WGの案内はJTAG事務局へご連絡ください。jtag-sec@jnsa.org